

R7年度療育講演会

授業のユニバーサルデザイン

～合理的配慮シーズを目指して～

8.6 Wed
10:00-11:30

2022年12月の文科省の調査では、通常学級での配慮が必要な児童生徒が8.8%いるという結果が出ました。内訳をみると学習困難の問題が4.5%から6.5%へとかなり増加しています。

（小学校だけだと7.8%です）。次の10年間の特別支援教育は、とりわけ学習困難の問題に傾注しなくてはなりません。合理的配慮については、2024年4月からの改正法施行により民間事業所も対象となり、社会全体の感度が上がると予測されます。学校も例外ではありません。高校入試等での合理的配慮も一般化され、普段の定期考査などの具体的配慮も課題です。演者は小学校のうちに「合理的配慮シーズ」を作らなければならない、そのためには具体的な在籍学級での視点を増やすべき、と考えています。授業のユニバーサルデザインの紹介と併せて、今後の教育のあるべき姿につき考えていきたいと思います。



講師 小貫 悟先生

明星大学大学院
心理学研究科心理学専攻 教授

- ・ 場所：横須賀芸術劇場 ヨコスカ・ベイサイドポケット
- ・ 日時：令和7年8月6日 10:00～11:30（開場 9:40）
- ・ 対象：横須賀市在住の発達に心配のあるお子さんの保護者・支援者など
- ・ 定員：400名程度
- ・ 申込：事前申込制です

令和7年 6月 11日 13:00 受付開始（7月31日受付終了）

申し込み方法：右のQRコードから申し込みフォームにアクセス、
または下記連絡先にお電話ください。

